

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 1 日作成)

| | | |
|------------------------------|---|--------------------------------|
| 小委員会名 | 音環境数値解析小委員会 | 主 査 名：佐久間哲哉 就任年月：2007 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 環境工学本委員会 (音環境運営委員会) | 委員長名：久野 覚 主 査 名：田端 淳 |
| 設 置 期 間 | 2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月 | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 音場境界条件に関するベンチマークの検討 ・ 実空間音響シミュレーションの事例収集 ・ 書籍出版の準備 ・ WWW の整備・拡充 ・ シンポジウム開催 | |
| 委員構成 (委員名 (所属)) | 委員公募の有無：有 佐久間哲哉 (東大)、大嶋拓也 (新潟大)、富来礼次 (大分大)、石塚崇 (清水建設)、大鶴徹 (大分大)、鬼東博文 (ヤマハ)、河井康人 (関大)、坂本慎一 (東大)、鈴木久晴 (日本エヴィクサー)、鶴秀生 (日東紡音響)、豊田政弘 (京大)、星和磨 (日大)、堀之内吉成 (京大)、安田洋介 (神奈川大)、横田考俊 (小林理研) | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | | |
| 2010 年度予算 | 48,000 円 | ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス： |

| 項 目 | 自己評価 |
|--------------------------------|--|
| 委員会開催数 | 5 回 (年度内計画を含む) |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は 除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等) | 1. 第 68 回音シンポジウム「音響設計実務と数値解析モデリング」 参加者数 40 名 |
| 大会研究集会 | |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | 1. 3 月末に書籍原稿の精査がほぼ完了。 2. 3 月に成果報告を兼ねたシンポジウムを開催。 |
| 委員会活動の問題点・課題 | 1. 出版書籍を用いた知識・技術の教育・普及 |

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学本委員会用 自己評価欄

2010 年度 音環境数値解析小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)

| | |
|---------------------------------|---|
| 総合評価 (4段階評価) | A |
| 総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等) | <p>本小委員会は 2009 年度からの 4 年間を設置期間として、建築周辺の音環境を予測する数値解析手法に関し、設定条件等と精度や有効性の関連、使用に際する制約などの学術基盤を網羅した確固たる基盤の整備を目的とした活動を進めている。</p> <p>2010 年度は、音響数値解析技術の実務利用のための音場境界条件の取扱い方法の整備を推進するとともに、建築音響シミュラクルの構築を目的とした実空間の音響シミュレーション事例の収集を行った。</p> <p>加えて、別途刊行小委員会において企画中の書籍「音環境の数値シミュレーション-波動音響解析の技法と応用-」に関して各種知見の整理作業を行い、編集作業までほぼ完了に至った。</p> <p>2011 年 3 月には、以上の全体成果の報告を兼ねた第 68 回音シンポジウム「音響設計実務と数値解析モデリング」を開催した。</p> |

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。